

(S2018-33 用)

研究課題名	敗血症患者における CT 検査を用いた高齢者の脆弱性と予後の推定についての過去起点コホート研究
研究期間	西暦 2019年 4月 4日から5年間 (登録対象症例：西暦 2012年1月1日～ 西暦2018年12月31日)
研究の目的と意義	敗血症患者の脆弱性と予後に関して分析し予後改善に寄与すること。 成人の敗血症患者における CT 画像を用いた筋肉量の低下と骨密度の低下、またその併存による高齢者の脆弱性の推定と生命予後の関連を明らかにすること、またこうした高齢者の脆弱性を表す特徴を含めた敗血症の予後予測モデルの開発を目的とします。 本研究により、高齢者の筋肉量・骨密度低下への予防、啓蒙に寄与するとともに、予測モデルの開発により治療早期に客観的なリスク評価を行うことができ、侵襲的な治療の適応の判断や予後予測に有意義な情報となると考えられます。また、リスクが高い高齢者を認識することで積極的なリハビリテーションや栄養療法などの計画・介入を行い脆弱性の進行を防ぎ、慢性期ケアにつなげることで健康寿命の延伸に資すると考えられます。
研究方法	2012年1月1日から2018年12月31日までの7年間に、当院ICUで診療を受けられた20歳以上の敗血症の患者様が対象です。対象となる患者様の診療記録を調べ、その背景因子、検査結果、診療内容、転帰などを調査させていただきます。また当院を退院後、かかりつけ医療機関やご本人、ご家族様に退院後の経過などについて電話もしくは質問紙の郵送などで追加調査させていただくこともあります。調査しました内容は主たる研究施設である京都大学大学院医学研究科で分析されます。研究の方法などに疑問点などがある場合には、下記連絡先までご連絡ください。研究の独創性、個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲において資料の公表をいたします。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。 本研究は、京都大学大学院医学研究科医の倫理審査委員会、当院の倫理委員会において、適切な研究であると承認され、当院の病院長に許可を受け実施しています。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。
問合せ先	京都第二赤十字病院 (職名・氏名) 救急科・医員 岡田 麻美 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)

研究の実施体制	<p>研究実施責任者： 京都大学大学院医学研究科 医学専攻 初期診療・救急医学分野 教授 小池 薫</p> <p>主たる研究実務担当者 京都大学大学院医学研究科 医学専攻 初期診療・救急医学分野 大学院生 岡田 遥平</p> <p>分担研究者 京都大学 環境安全保健機構 健康管理部門 教授 石見 拓 教授 川村 孝 特定助教 木口 雄之</p> <p>京都第二赤十字病院 救命救急センター センター長 飯塚 亮二 救急科副部長 成宮 博理 救急科医員 岡田 麻美 救急科医員 平木 咲子</p> <p>京都医療センター 救命救急センター センター長 西山 慶 医員 土屋 旬平</p>
---------	---